

# 赤穂市女性交流センターだより

発行／赤穂市市民部市民対話課（☎43-6812・Fax43-6810）

女性交流センター（☎43-7800・Fax43-6810）



赤穂市女性  
交流センター  
QRコード

第27号 2024. 3



女性交流センターでは、  
女性の様々な問題(悩み)に関する相談を  
実施しています。(場所:市民会館3階)



**女性問題相談(電話または面接相談)・・・毎週火曜日から金曜日**

午後1時から午後4時(祝日・年末年始除く)

※予約は必要ありません

**女性問題専門相談(専門カウンセラー対応)・・・毎月第4金曜日**

午後1時から午後4時(一人50分)

※面接相談で予約が必要です。託児をご希望の場合はご相談ください。

## 令和6年度 女性問題専門相談日 日程

4月26日	8月23日	12月27日
5月24日	9月27日	1月24日
<del>6月28日</del> 21日	<del>10月25日</del> 18日	2月28日
7月26日	11月22日	3月28日

★ご予約は女性交流センター(TEL43-7800)

または市民対話課(TEL43-6812、FAX43-6810)まで。

女性が抱えるさまざまな悩みや問題を**女性の相談員**が女性の立場に立って受け止め、相談者自身が問題解決に向けての一步を踏み出せるようサポートします。お気軽にご相談くださいね。

## おすすめの貸出図書



小学校高学年以上向けにわかりやすく書かれた「SDGsシリーズ本」から2冊紹介します。



1冊目は、目標1“貧困をなくそう”『みんなはアイスをなめている』(安田夏美・作)です。小6の陸は学校から帰って来ると、家事や妹の面倒をみて夕食のおかずを買いに行く。母親が用意してくれるお金は一日 500 円。普段はそれでなんとかしてきたけれど、急に妹の歯科治療で 500 円かかってしまった…。途方に暮れて陸が「…貧乏ってどうしたらいいんだろうな」とつぶやいていたのが印象的でした。



2冊目は、目標5“ジェンダー平等を実現しよう”『すし屋のすてきな春原さん』(戸森しるこ・作)です。伝くんがお父さんと一緒にお寿司屋さんに行くと、店内には女性のすし職人さんが立っていました。伝くんは、学校で「すし職人になりたい」と言っていた海江田さんが同級生に「すし職人は男の仕事だから無理だ」と言われていたことを思い出しました。お父さんに「すし職人が男の人ばかりなのは何故だと思うか」と聞かれて、伝くんは答えに詰まってしまいました…。

どちらの物語の中にも問題点・現状・具体的な目標などが織り込まれていて、気づきや疑問がわいてきました。皆さんも、ぜひ手に取って読んでみてください。



上記を含め、女性交流センターには、男女共同参画等に関する図書・行政資料をそろえており、誰でも自由に閲覧や本の貸し出しもできる情報図書コーナーがあります。また、活動や交流の場として利用できる会議室がありますので、ぜひご利用下さい。

### やってみませんか？～音楽療法士さんに教えてもらった脳トレ～

左手はグーで前に出して・右手はパーで胸において

今度は反対に、右手はグーで前に出して・左手はパーで胸に

この動きを ♪うさぎとかめ♪ の歌に合わせてながら、手を交て行います。

♪もしもしかめよ かめさんよ…歌いながらできましたか？



今度は、前に出すのはパーで胸におくのはグーにします。

♪もしもしかめよ…と歌に合わせてながら、手をかえていきます。できていますか？

脳がパニック！そんな時は、ちょっと時間を置いてみるとできるかも。不思議ですね。



互にかえ

